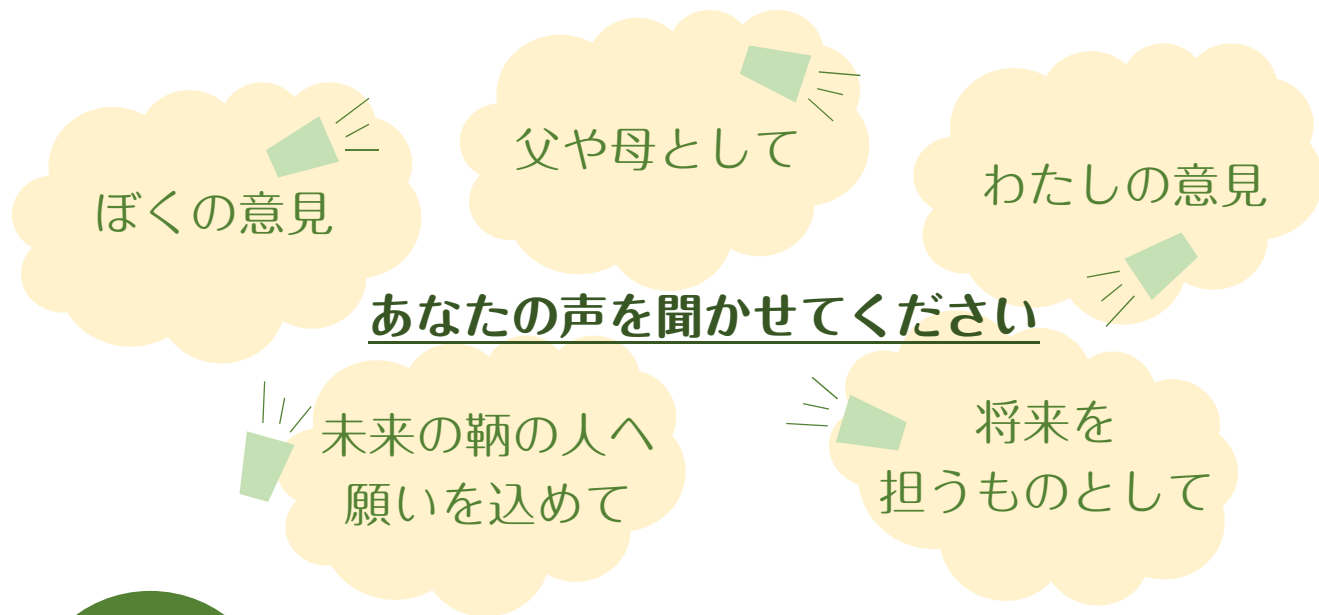


～ これからの鞆のこと、おとなも子どもも一緒に考えましょう ～

# 発表者募集

## 鞆まちづくりビジョン

### 第3回ワークショップ「住民意見発表会」を開催します



11/26  
(土)

【時間】 13:00～17:00 【場所】 鞆公民館2階ホール

※意見発表と討論を行います

■発表時間：10分程度 ■質疑応答：5分程度

※最終的な発表時間は希望者数に応じて決定します

鞆まちづくりビジョンにどのような視点を盛り込んだらよいか  
今後のワークショップで検討するための提案をお待ちしています

※第2回ワークショップで配布の「住民意見発表会 募集要項(案)」では、開催場所を鞆中学校体育館としていましたが、鞆公民館で開催することとしましたので、お間違えのないようお願いいたします。

#### 【募集要項】

■意見発表の申し込み期限： **11月11日(金) 17:00 〆切**

■申し込み先：①または②までお申し込みください

①福山市建設局都市部都市計画課(鞆まちづくり推進担当) 電話(084) 928-1142

②福山市鞆支所 電話(084) 982-2660

※申し込みの際は、発表者の住所、名前、年齢、連絡先、発表タイトルをお伝えください。

※お伝えいただいた内容は厳重に管理し、このワークショップに関するお問い合わせ以外の目的では使用いたしません。

鞆町のみなさんと「鞆まちづくりビジョン」を考える

# いい鞆ニュース Vol.2

発行：福山市 2016年(平成28年)10月

## 10/5 第2回ワークショップを開催しました

10月5日水曜日、午後7時半より鞆公民館の2階ホールにて「鞆まちづくりビジョン」策定に向けた第2回ワークショップを開催しました。

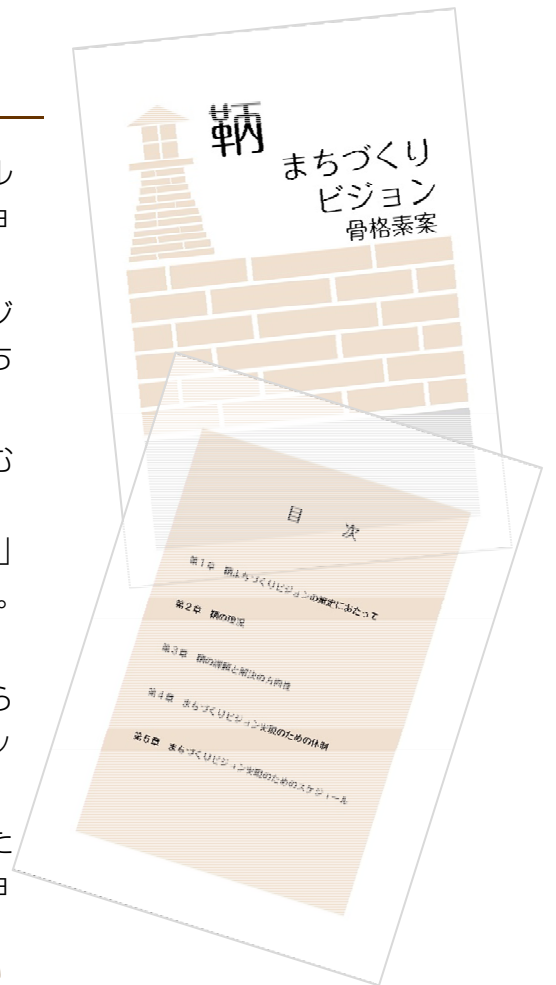
参加者は福山市職員を含めて約90名、鞆まちづくりビジョン実現のための体制とスケジュール、これからつくるまちづくりビジョンの骨組と肉付けのイメージを確認しました。

ワークショップでは、「鞆まちづくりビジョン」に盛り込む内容としてどのような項目が考えられるかを付せん書き、項目毎に分類すると「福祉」「交通」「子育て」「防災」「空き家」など146枚の意見が揃い、項目毎に意見交換を行いました。(全ての意見は、次回ワークショップで配付します)

また、鞆の将来を考え、より多くのアイデアや、若い人からのアイデアをいただきたいとの考えから第3回ワークショップは、「意見発表会」の形で行いたいと思います。

発表者のみなさんには、日頃お考えのことを発表していただいた後、参加者のみなさんと議論し「鞆まちづくりビジョン」に反映させていきます。

※募集の詳細は裏面をご覧ください



## 鞆支所に「資料閲覧コーナー」と「ご意見箱」を設置しました

「これからの鞆のこと、おとなも子どもも一緒に考えましょう」をスローガンに、約1年半をかけて鞆のみなさんと一緒に「鞆まちづくりビジョン」をつくります。

鞆支所では、ワークショップで出た意見や、会場アンケート結果、いい鞆ニュースなど全ての資料を閲覧できるコーナーを設置しました。また、ワークショップでみんなの前では言いにくかったけどこんなアイデアはどうかといった提案を「ご意見箱」で受け付けています。お名前をご記入いただき、ワークショップと同じように「批判ではなく提案」のご意見をお寄せください。



【お問い合わせ先】 福山市建設局都市部都市計画課(鞆まちづくり推進担当)

電話(084) 928-1142 (担当：岩木)

## 【鞆まちづくりビジョンの骨格に入れる項目について】

鞆まちづくりビジョンを鞆のみなさんと共につくっていくために、第2回ワークショップでは、これからつくるまちづくりビジョンの骨組と、肉付けのイメージを確認しました。

骨格とは、鞆まちづくりビジョンとして考えていく項目で、例えば「防災について考えよう」「交通の問題について考えよう」「福祉のまちづくりについて考えよう」「空き家の活用について考えよう」「観光について考えよう」など項目ひとつひとつが骨組となります。

第1回ワークショップで共有した「鞆のいいところ」「改善したほうがよいと思うところ」や、第2回ワークショップで意見を書いた「骨格に入れる項目について」、今後のワークショップでのアイデアを基に、話し合いの場で項目を整理していきます。

さらには、この骨組について、現状を活かしていくアイデア、課題を解決していくアイデアなどを盛り込んで肉付けを行い、最終的には「鞆まちづくりビジョン」として方向性を示した文書として整理します。



【骨格についてのご意見】 付せんのご意見を分野別に区分し、それぞれの分野別に意見概要をお示しします。

～ 全てのご意見は次回ワークショップで配付します ～

### コミュニティ

地域の繋がりが強く、子どももお年寄りも安心して生き生きと暮らし続けることのできる鞆であることを望みます

### 空き家

鞆に住む人が減少する中、費用負担も含めた空き家対策で人を増やすことを提案します

### 交通・道路

道路は切迫した問題で、人や車が安全で生活しやすい道路、散策できる道が欲しいです  
整備された道路は必要。でも、景観は残したいです  
これまでのことに拘り過ぎず、目的を確認しながら交通を考えたいです  
休日は観光客の車で渋滞するため、鞆の文化にふさわしい、人と車が安全・安心して通れる交通システムを考えたいです

### 子育て

子育てしやすいまちづくりを目指すことで、将来の鞆を担う子どもを育み、人口減少に歯止めをかけることを提案します

### 歴史・文化

高い歴史・文化的価値を誰もが認識し、重伝建指定、江戸時代の家屋補修といった対策を望みます

### 少子化・人口

人口減少・少子高齢化の中でも、学校や生徒が地域で活躍するまちを望みます

### にぎわい

働くところ、買いものをするところなど、生活圏としての町の活性化を望みます

### 高齢化

福祉・介護・健康づくり、高齢者の生活充実を望みます

### 観光

鞆に住む人たちの生活圏内に観光客が訪れるため、生活道路の使い方や観光客のマナーなどストレスが溜まりやすく、生活圏と観光のまちとの調和は難しい現状です

### 若者の意見

地域の昔ながらの考えと、若者の考えの融合を望みます  
若者、女性、学生、主婦、小中学生など、いろいろな意見を聞いてみたいので、場の設定や専門部会のような工夫を提案します

### 防災

災害時に誰ひとり命を失わないよう、すぐに復興できるよう、様々な災害に対する防災・減災対策を望みます

また、いざという時に安心して避難できる場所や、緊急車両がスムーズに通れる対策を望みます

さらに、どのタイミングでどういった対応をすればよいかわかると良いと思います

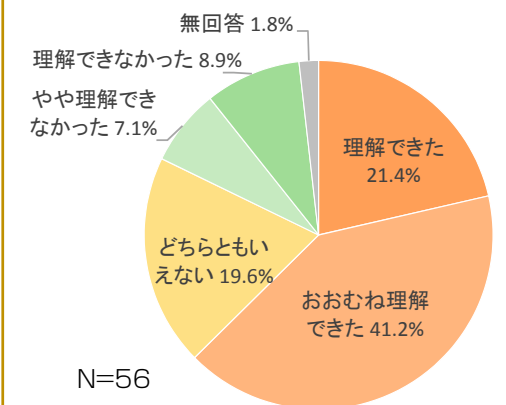
平常時にも、安心して暮らせるよう、消費者教育や子どもが安心して遊べる公園の充実を望みます

## 会場 アンケート

行政職員を除く71名のうち、アンケートにご協力いただいた56名の方は、鞆まちづくりビジョンをつくることについて、「理解」約6割、「どちらともいえない」約2割、「理解できない」約2割というご意見でした。

今後もワークショップを重ねていくなかで、若い人たちもお互いに理解を深め、意見を発表しやすいように工夫をしていきたいと思っています。

Q: 鞆まちづくりビジョンをつくることについてどう感じましたか？



## 【鞆まちづくりビジョン作成をワークショップで進めることについてのご提案】

- 引き続き、ファシリテーターと対話形式で話をしたい。
- これまでの経緯があるため、道路の問題が出るのは当然だが、(目的) どんなまちにしたいかの前向きな意見を出し合いたい。建設局長の最後の挨拶がよかった。
- 出席者の個人の意見をもっと聞く(どなりあいになるくらいに思いを言ってもらおう)。
- 県の人(職員)にも出席してもらいたい。
- 全員とはいえないが、多くの人の意見を聞くこと。
- 将来に向けての町づくりビジョンなのに、現在の不満、愚痴が主になっている為、もう少し明るい先の見えやすい議事の進め方はできないでしょうか。若い人の参加、鞆以外から嫁に来た人とかの参加がほしい。
- 第一に何を1番と考えているかが年齢によっても場によっても差があります。将来といっても考えることが限定的になってしまうなあと反省しきりです。
- 成果を確実にあげましょう。プランだけは過去にたくさんあったが、実現できていない。
- 始める前に事前に問題提起してあれば考えて来られると思う。
- 多数の意見が聞けてよい。
- 今回も出席されている人達のほとんどが50歳以上の人達が多く、若い人が意見を出しにくいので、若い人だけを集めてワークショップをしてほしい。
- もっと若い人の意見を聞きたい。
- 少人数でグループワークのような形で意見を出すやり方もありかなと思う(～10人)。特に若い世代中心が発信できる場が設けられるのならば、少人数でわーわーやったほうが楽しい意見が出る気がした。
- 初めてのことでですので、よくわかりませんが、今のようなやり方でよいのでは？
- 声を出せる人の意見だけを集約してよいのでしょうか？ご意見箱をうまく活用してほしいです。
- 同じ鞆に住んでいても、年齢、住んでいる地域によって必要と思うことが異なっている。その意見の違いを話し合っていくことの難しさを感じる。でも必要なことと感じた。
- 作成に当たり、区分をされて①鞆&福山市でできるビジョン。②県、福山市、三者で行うことに区別するほうがよい。
- 鞆全体でやるより数ブロックに分けて提案をする
- 皆の意見をまとめていくことは大変だと思う。短時間にたくさんの意見(付箋)が出たのでこの強みを施策につなげていけるとよい。だんだんにテーマを絞って意見を出していけばよいと思う。
- 鞆の人がとことん話し合うことが必要だと思います。ワークショップの参加者にしては、いろいろな意見があり、早急に結論を出すのは難しいと思います。